

2019年度 第316回教育研究審議会議事要録

日時 2019年6月11日(火) 13:30～13:50
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 松尾学長、柳井副学長、龍副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、伊藤外国語学部長、隈本経済学部長、田島文学部長、小野法学部長、内田地域創生学群長、上江洲国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、工藤マネジメント研究科長、今泉学生部長、高橋教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、中武環境技術研究所長

配布資料

- 1 退職願（国際環境工学部）
- 2-1 平成30年度計画に係る自己点検・評価報告書（案）について
- 2-2 平成30年度計画に係る自己点検・評価報告書（案）
- 3 2019年度入試広報計画
- 4 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第1号 教員の人事について

* 資料1のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、赤川貴雄教授の2020年3月31日付での退職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第2号 平成30年度計画に係る自己点検・評価について

* 資料2のとおり、平成30年度計画に係る自己点検・評価について提案。

- 5月14日開催の第314回教育研究審議会において、各部局に進行状況および実施状況の確認を依頼した平成30年度計画に係る自己点検・評価報告書（案）について、修正意見等を内部質保証推進室でとりまとめ、最終案として提案するもの。教育研究審議会承認されれば、6月27日開催の経営審議会・役員会で審議いただき、公立大学法人北九州市立大学評価委員会に「業務の実績に関する報告書」として提出する予定としている。
- 年度計画No.58の「自主財源の確保」について、目標値である6億円を大きく上回る約7億3千万円を獲得しているが、報告書案ではⅢ評価となっている。国際環境工学部において、Ⅳ評価にしてはどうかとの意見が上がっている。
- 一昨年度も目標値を大きく上回る約8億3千万円となっていたため、昨年度の公立大学法人北九州市立大学評価委員会において、委員からⅣ評価としてはどうかとの意見があったが、最終的な同委員会による評価結果ではⅢ評価となった経緯がある。
- 目標値の6億円という額は、非常に高いハードルであり、毎年目標値を上回る外部研究資金の獲得にはかなりの労力を要するため、Ⅳ評価としてもらいたい。
- 多額の外部研究資金を獲得した教員にヒアリングをしたところ、外部研究資金の獲得がどのように大学に評価されるのかについて関心があると聞いた。当該項目が評価されることで、教員のモチベーション向上に繋がり、今後の活躍も期待できるため、Ⅳ評価としてもらいたい。
- 北方キャンパスの科学研究費補助金やひびきのキャンパスの外部研究資金等を合わせ、継続して目標値を上回る外部研究資金を獲得していることから、当該項目はⅣ評価とする。

【議長】一部資料修正のうえ、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 2019 年度入試広報計画について
- ② 教員の海外出張について
- ③ 次回の審議会を 2019 年 6 月 25 日（火）に開催する予定の旨、連絡があった。